

KIYOSHI SAITO 斎藤清展



見つめ
見つめられ

凝視

ぎょうし

2016.3

31
thu

↓
6

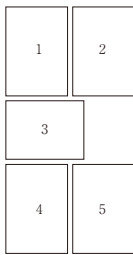
26
sun

凝視(猫)1971(昭和46)年 紙・木版 Steady Gaze

誰の目にも見えなかった。斎藤清にだけ見えていたモダニズムの構図。



やないづ町立
斎藤清美術館
KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU



1. 凝視(花) 1950年 紙・木版
2. 凝視(二匹の猫) 1952年 紙・木版
3. 赤い花 1948年 紙・木版
4. 瞳(黄) 1966年 紙・木版
5. 目(1) 1975年 紙・木版



斎藤清の「凝視」シリーズは、1951年、第1回サンパウロ・ビエンナーレ展での戦後日本人初の国際展受賞作からスタートしました。以来、「凝視」は、彼の生涯の大きなテーマのひとつに――。

斎藤の創作スタイルは、たとえ同じ対象に何度遭遇しても、まるで初対面であるかのように接し、それまで見えなかった「モノ」を発見することでした。

彼は、気づいていたのかも知れません。

向き合う対象との視線の交錯の中で、見つめているはずの自分が、実は見つめられているということに。

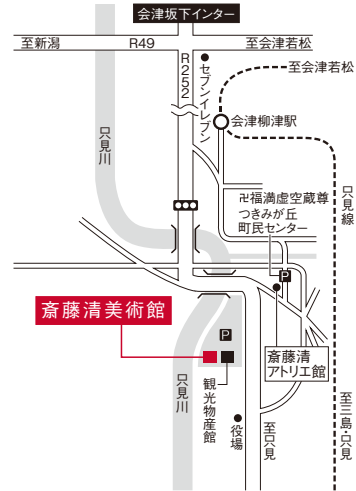
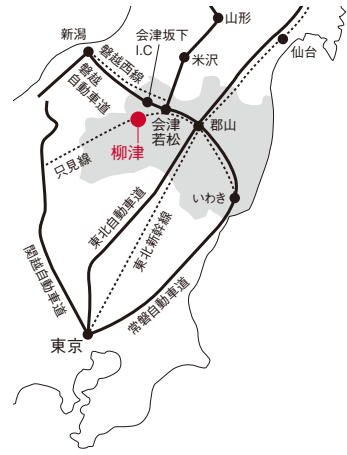
平成28年 **3月31日(木)～6月26日(日)**

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 【休館日】毎週月曜日(ただし月曜日が祝祭日の場合はその翌日)
 【観覧料】一般510円(410円) 高・大学生300円(200円) 中学生以下無料(カッコ内は団体料金)



斎藤 清 Kiyoshi Saito

1907年(明治40年)福島県会津に生まれる。安井曾太郎氏の本版画作品に触発され、本版画制作へ傾倒。1951年、サンパウロビエンナーレ展に出品された「凝視(花)」が在サンパウロ日本人賞を受賞。戦後日本人として初の国際展での受賞となり、日本の現代版画の素晴らしさと斎藤清の名を世界中に広めることとなった。以後、国内外で数多くの栄誉に輝き、1995年、文化功労者に顕彰される。1997年、永眠。享年90歳。



車でご来館になる場合
 東北自動車道 → 磐越自動車道 → 会津坂下I.C. → R252を柳津町方面へ約5km(道の駅 会津柳津内)

電車でご来館になる場合(JR利用)
 東京(東北新幹線) → 郡山(磐越西線) → 会津若松(只見線) → 会津柳津
 東京(上越新幹線) → 長岡(上越線) → 小出(只見線) → 会津柳津

〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187
 TEL 0241-42-3630
 e-mail bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

やないづ町立
斎藤清美術館
 KIYOSHI SAITO MUSEUM OF ART, YANAIZU